

津軽三味線

“SHAMISEN”ライブ

令和8年11月29日(日) 13時30分開演

13時開場

【会場】 かるまい文化交流センター宇漢米館 多目的ホール

【入場券】 町内/1,500円 町外/2,000円

高校生以下 町内/800円 町外/1,000円

全席
指定

住所が確認できるものをお持ちください

11月2日(月)から《かるまい文化交流センター》でチケット販売開始



◆津軽三味線 永村 幸治

9歳の時、両親の影響と姿勢に憧れ民謡三味線を習い始め、12歳の時に津軽三味線を初めて聞き、その迫力と技術と音色に心打たれ、津軽三味線に転向。

県内外の小・中・高校での芸術鑑賞会や「未来は自分次第〜津軽三味線にかけた人生〜」と題した演奏を交えた講演をし、若い世代へ向け三味線音楽や楽器を体感してもらう他、番組への楽曲提供、音楽作品参加など、幅広く活動している。

2007年から活動している「永村幸治 with Sound Splash」では、Rockをベースに楽曲を制作し、津軽三味線に洋楽器というバンド編成で独自のスタイルを確立している。またエレキ三味線を使用し新たな挑戦をし続ける中でも、津軽三味線のよさを大切にしながら、石川県金沢市在住だからこそ出来る音楽を表現して活動していきたいと考えている。



◆ピアノ 吉田 笑夏

ピアノ/キーボード/時々ピアノカ
ジャンルにとらわれない、オリジナリティ溢れる活動を行う。

音楽以外の分野ともコラボを行い、心赴くままに演奏する即興のスタイルで、活動の幅を広げている。

また、「かのん音楽教室」の代表として、音楽や表現活動を通した子どもたちの教育にも力を入れている。



◆ベース 馬場 建史

高校時代にロックと出会ったことで友人とバンドを結成しベースを担当。

その後ジャズを学び、現在はゴスペル・サルサ等も含め、幅広いジャンルで活躍している。今までに培った包容力ある演奏で多くの演奏者からの信頼も厚く、多様な演奏者と活動をしている。

メロディアスなアドリブにも定評がある。



◆ドラム ハナ ケンシロウ

中学生の頃からドラムを始め、当時所属していたバンドをきっかけにライブハウスを中心に音楽活動始める。

自身のバンド、洋燈の灯り、Badcageで活動をする他、ロックを基としたドラムのプレイスタイルを持ち味とし、ポップスやフュージョンと言ったジャンルでも、その持ち味を活かしたプレイスタイルで現在も県内外を問わず、幅広く活動している。

主催：軽米町文化協会 共催：軽米町教育委員会

お問合せ

〒028-6302 軽米町大字軽米8-87-1 軽米町文化協会事務局

電話 0195-26-8250 軽米町教育委員会事務局内(9:00~21:00/11月の休館日 4・9・16・24日)